

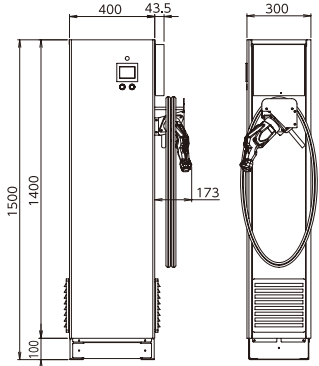
eLINK

商品名・型式	eLINK TPS10-A
外形寸法	400(W)×1500(H)×300(D)mm(突起部を除く)
質量	114kg
充電ケーブル長	約5.7m
運転モード	自立運転/EMS運転/給電運転/充電運転/予約運転
タッチパネル	3.5インチ, 320×240dot(モノクロ16階調)
操作ボタン	STARTボタン(青)、STOPボタン(緑)、緊急停止ボタン(赤:ラッチ式)
定格電圧・周波数	単相3線 AC 202V 50/60Hz
定格出力	5kW(交流ベース)
直流電圧範囲	DC 150~450V
設置場所	屋外
周囲温度・周囲湿度	-10℃~40℃・30%~90%(結露なきこと)
保護等級	IP44(ファンユニットを除く)
CHAdEMO認証	V2H protocol DC version 2.1
外部解列入力	1点(a接点)
通信 I/F	ETHERNET 100BASE-TX
通信方式	ECHONETLiteリリースJ 電気自動車充電器クラス 電気自動車充電器・HEMSコントローラ間AIF仕様書Ver.1.2
V2H 対応車両*1	日産自動車:リーフ e+, リーフ, e-NV200, アリア, サクラ 三菱自動車工業:エクリプス クロス (PHEVモデル), アウトランダーPHEV, eKクロス EV, i-MiEV, MINICAB-MiEV VAN, MINICAB-MiEV, MINICAB-MiEV TRUCK トヨタ自動車:PRIUS PHV<2019年5月以降販売>, bZ4X 本田技研工業: Honda e SUBARU: SOLTERRA マツダ: MX-30 EV MODEL, CX-60 PHEV Hyundai Motor Company: IONIQ5 Mercedes-Benz: EQS, EQE

*1 最新対応車両はこちらよりご確認ください URL: <https://www.tsubakimoto.jp/other-products/elink/spec/>



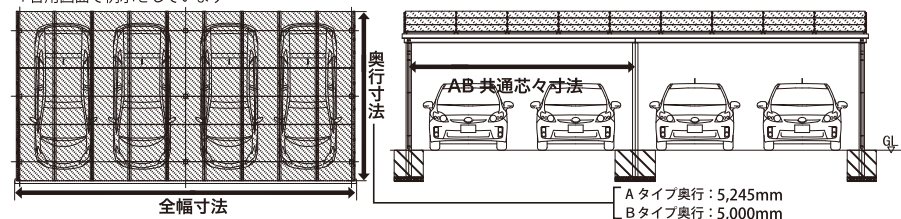
外形寸法図



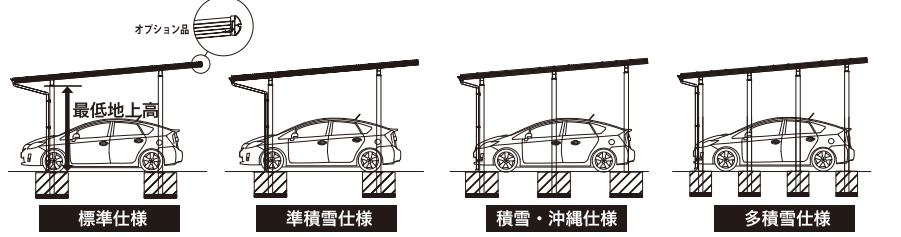
●2020年11月時点。急速充電口の付いていない車両は接続できません。V2H非対応車両は、車両からの給電(自立運転と給電運転)はできません。左記車種であっても型式・型式により車両のプログラムの改修が必要な場合があります。詳しくは販売店にお問い合わせください。
●系統連系を行う場合は電力会社(地域の送配電事業者)に系統申請が必要となります。設置の設計・工事はお客様に実施をしてください。製品質量などに対して十分強度のあるコンクリートの基礎の上に設置ください。

E-PORT V

4 台用図面で例示をしています



	AB タイプ共通		最低地上高	A タイプ	B タイプ
	全幅寸法	柱間芯々寸法		奥行寸法	奥行寸法
1 台用	—	—	2,400mm	5,245mm	5,000mm
2 台用	5,763mm	5,550mm			
3 台用	8,051mm	5,063mm+2,775mm			
4 台用	10,339mm	5,063mm+5,063mm			



付属品

DMEGC SOLAR
両面発電モジュール
DM405M10-B54HST
公称最大出力 405 W
モジュール変換効率 20.74%

HUAWEI製
パワーコンディショナー
屋外用
マルチストリングス型
(4回路)
SUN2000-4.95KTL-JPL1
変換効率 97.0%*

データ収集装置
3000A00

* JIS C 8961に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します。

⚠ 安全に関する注意

●人命に直接かかわる医療機器などに使用しないでください。●心臓ペースメーカー、ICD など医療電気機器を使用している方は、本体には近づかないでください。●騒音について制約のある場所には設置しないでください。●塩害地域や温泉地などに設置する場合は、あらかじめ設置業者などに相談してください。本体が腐食し、本体の寿命を縮める可能性があります。●可燃ガス(シンナー、ベンジン、殺虫剤など)、腐食性ガス、引火物を近くに置かないでください。引火し、火傷、火災の原因になります。●電気工事士の資格を持った人が設置作業を行ってください。

再エネ × EV × BCP
QPORT

充電装置付き太陽光発電カーポート [QPORT]



企業課題の解決へ 電気自動車導入スタート企業向け
EV充電器の設置をお考えの企業様へ。充電装置付き太陽光発電カーポートをお勧めします。



太陽光 × EVでカーボンニュートラルに貢献 発電 & 充電 & 給電できるマルチカーポート

太陽光発電カーポートシステム「Q PORT」は、「3つのQな機能」を有する電力供給システムです。
「両面発電太陽電池モジュール」を搭載した「E-PORT V」で発電した電気は、
V2X対応充放電装置「eLINK」を通じてEVへの充電や事務所などでの自家消費用に利用できます。
停電時の非常用電源などにも利用できる、画期的な電力供給システムです。

3つのQな機能

救電

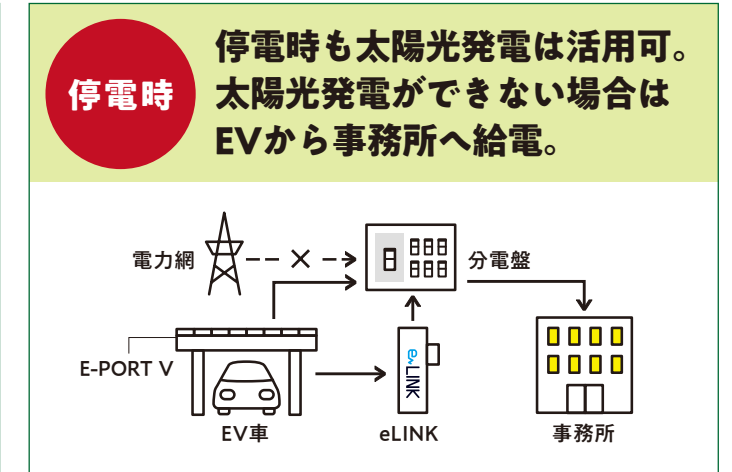
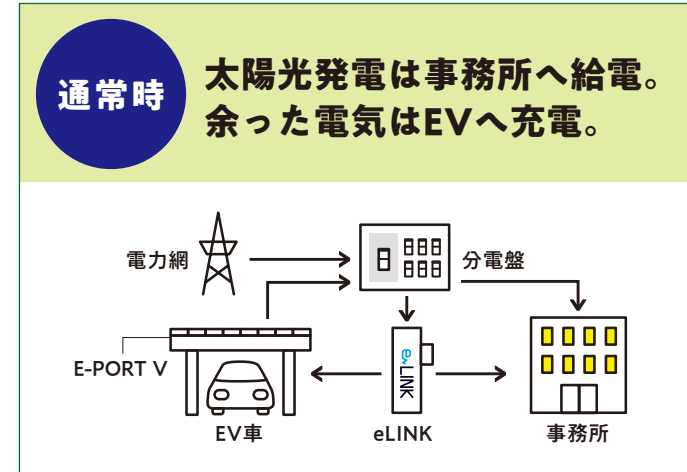
停電時などの緊急時にEVから電気を取り出せます。

給電

太陽光発電などでEVに貯めた電気を使えます。

Q電

Quantum
画期的な電力供給システムです。



高機能な2つのシステムがセットになったQ PORTで、これからの時代のエネルギー活用に対応

V2X対応充放電装置で電力をつなぐ

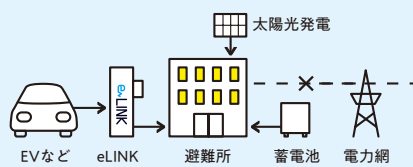


V2X対応充放電とは

EV充放電器はEV充電器とは異なり、EVのバッテリーに蓄えられた電力を他の場所へ「供給」することが可能な、電力の双方向のやりとりを実現する装置です。EVへの充電はもちろん、EVから建物などへ給電し、契約電力の削減や節電要請に応えるほか、停電時の非常用電源として活用することができます。このように充放電器をインターフェースにすることで、「EVを蓄電池として活用する」仕組みに注目が集まっています。

停電時の非常用電源として

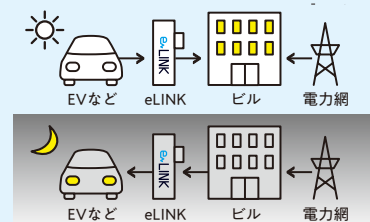
安心・安全



- ★ 停電時にはEV・PHEV・FCV^{*1}を電源に、避難所や情報拠点の電気機器が使えます
- ★ 他の蓄電池や太陽光発電と組み合わせて使えます^{*2}

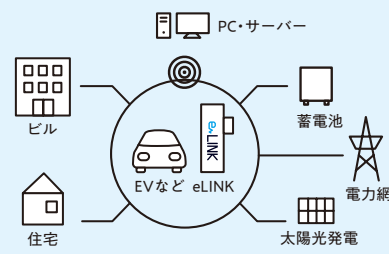
デマンド(電力需要)のピークカット/ピークシフトに

電気代の抑制



- ★ EVからの給電でデマンドを下げ、契約電力の削減や節電要請に応えます
- ★ 電気代の高い時間帯から安い時間帯(夜間)に充電をシフトし、電気代を抑制できます

EMS^{*3}からの充放電制御をスマートに実現



- ★ 高応答・高精度でVPPリソースとして活用できます【需給調整】
- ★ ECHONETLite、Modbus TCPなどに対応
- ★ EMSとの通信機能が充実、エネルギーマネジメントで使いやすい



降り注ぐ太陽の光をエネルギーへ



カーポートと太陽光発電が融合した「次世代型カーポートE-PORT V」

太陽光発電パネル(両面ガラス)専用設計。
太陽光を直接受ける表面だけでなく裏面からも発電が可能。

直射光だけでなく、地面からの反射光を利用してしっかり発電。

自家消費による節電効果はもちろん
長期的な経済効果をより効率的に生み出すソーラーカーポート。



国内工場で一貫生産
Japan Qualityを追求

- ★ 開発～設計、製造すべて日栄インテック(工場:千葉県)での国内一貫製造体制を実現。
- ★ カーポート本体は完全国内生産の「Made in Japan」。

^{*1} V2Hガイドライン対応車両 ^{*2} 使用できる機種はお問い合わせください。 ^{*3} ECHONETLite: 各機器がシステム内で相互接続し、エネルギー管理などのサービスを実現するための通信仕様。